



12/10 平成28(2016)年 12月10日<第44号> 発行：城南島連合会 制作：新聞委員会 〒143-0002 東京都大田区城南島2-2-8 電話 03-5755-9390 URL www.jounanjima.com 印刷：光写真印刷株式会社



この後に話された具体的な活動については、懇親会冒頭挨拶で詳しく述べられたので、詳細はそちらに記録する。続いて進行役の松本章氏から、「今回の総会出席者は23名、委任状21名、合計44名。総決数66の過半数を超えているので総会は無効である」と報告があり、規約により杉崎会長を議長に選任し議案審議に入った。

第1号議案は平成28年度事業報告書・収支決算報告書承認の件。中澤勇一郎副会長から概況に続いて、環境委員会、交通委員会、交流委員会、新聞委員会、ホームページ委員会、防災委員会の各委員会の活動が報告された。交通委員会では杉崎会長が冒頭挨拶で触れた、城南島の交通事情について「羽田空港アクセス新線」に新設駅の誘致、国道357の京浜大橋北交差点の渋滞解消策、野鳥大

平成28年10月21日(金)15時30分から大森東急REIホテル・オークルームで、第31回城南島連合会通常総会が開催された。杉崎会長の開会挨拶に続き、3議案の審議が行われ、各議案はいずれも満場一致で承認された。終了後、16時30分から株式会社志摩塾の戸谷益三による講演会が行われた。終了後18時から会場をメイブルームに移して懇親会が行われた。

第31回通常総会開催

橋付近の渋滞解消策など、積極的に検討・要望を行ったこと。交流委員会では、例年実施しているゴルフコンペで春に30周年記念の1泊交流会が行われたこと。防災委員会では南部スラジプラントから同プラントの防災訓練に城南島連合会が地域企業として参加する要請があり、理事企業から10名が演習に参加したことなどが報告された。続いて決算報告が松本氏からあり、事業報告と合わせて満場一致で承認された。

城南島連合会役員名簿

Table with columns: 役職名, 氏名, 企業名, 電話番号, FAX番号. Lists board members and their contact information.

城南島連合会委員会名簿

Table with columns: 委員会名/委員長, 委員氏名, 組合名・企業名, 電話番号, FAX番号. Lists various committees and their members.

編集後記

この秋に城南島連合会においても、また、われわれ新聞委員会においても多大なご尽力を賜りました日本熱管工業の島木清秋さんが引退・卒業いたします。連合会行事の数々の場面で様々なご意見をいただきご活躍されました。たいへん残念ではありますが城南島から離れることとなり、今後新たなスタートをされる島木さんのご健勝ご健闘をお祈りいたします。



第31回通常総会懇親会 & 講演会リポート

通常総会終了後、(株)志実践代表取締役・戸谷益三氏を講師に迎えて「職場の空気が実績を創る」をテーマに充実した講演会が行われた。続いて会場をメーブルルームに移し、多くの来賓を迎えて懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で参会者が親睦を深めた。

課題を克服して働きやすい城南島を

城南島連合会 会長 杉崎武春

流通センター前の運河と花卉市場の間に非常に広い土地があります。また東京都の所有なんです、これを大田区に移管して、ここを賑わいのある街にしようという事業が「大田臨海部まちづくり協議会」で検討中です。新しいものを発信していく場所になるのではないかと期待しています。

城南島の課題の中でもっとも大きいのが交通の利便性ですが、その解決策の一つとして強く推進しているのが、羽田空港アクセス新線の駅を大田市場の近くに誘致することです。それと交通渋滞ですね。国道357の京浜大橋北交差点、交番のところが大渋滞を起しています。これは今、大田区と国土交通省の川崎に話し合ってもらっていますので、近々解決策が出て来ると思います。また、城南



野鳥橋を壊して陸橋ではなく平面道路にしようということも計画されていて、再来年の3月までに開通することになっています。そして臨海トンネルの第二工区が開通すると、これは非常に便利に使えるということになります。埋立島部への交通ネットワークの形成が着々とこれから実現していくと思いますので、便利になることが体感できると思います。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、大田区でもいろいろな事業が進んでいます。自転車の専用レーン(ナビレーン)や、自転車を借りて、任意の置き場所(サイクルポート)に返却できるレンタサイクルシステム(コミュニティ・サイクルシステム)を作っていくという活動も、民泊もその一つです。そういうさまざまな活動に、城南島連合会もその一翼を担うのは非常に嬉しいことだと思います。本日も来会の議員の皆さん、そして城南島連合会会員の皆さんのご協力をいただき、本当に、いい城南島、働きやすい城南島を作りたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願い致します。

り来たりして、それなりの社会人になるための常識を身につけるということなんです。そのキャリア教育を大田工連もいろいろな組織と組んで、一生懸命やっております。

ご要望に応える中小企業政策を作りたい

都議会議員 鈴木あきまさ

キャリア教育における問題の原点は、大卒新入社員の半分が契約社員として入ってくるという今日の実態です。私は昭和42年卒業ですが、そのころは大学を卒業して就職すれば全員が正社員でした。ところが、ある時期から3年で30%が辞めるということが常態化したために社会的な問題になり、その影響で契約社員が蔓延したんだと思います。しかし、それは我々の責任でもありません。我々がやっているキャリア教育は、中学生の職場体験授業とか高等学校、工業高校のインターシップですか、あるいはデジタルシステム、そういうものを通じて人材を育てることです。ぜひ、皆さま方におかれましては、学校側からの要請があった場合、ぜひ受けていただきたいと



今日は動物愛護の研究会で、城南島の動物愛護センターの視察をしました。野鳥公園を右折して橋を渡って到着するまで渋滞でだいぶ混みました。皆さんからも長年にわたって渋滞対策についてはご要望をいただいておりますが、トレーラー等を取る埋立地の整備がもう間もなく終わります。少しでも早く解決できるように、港湾局とも連携をとりながら

あなたの会社を益々ワクワク元気にします! 講演会: 職場の空気が実績を創る

講師・戸谷益三氏(とたにますぞう)

講師の戸谷益三氏は世界最大の化粧品会社ロレアルの日本法人で37年間、教育担当を務め、2015年に人材育成のための教育事業を目的とする(株)志実践を設立した。戸谷氏のセミナーは本来は、社員を益々幸せにしようとする志の高い経営者の集まりの勉強会だが、社員が進んで受講を希望し受講者数が大きく増え、受講すると本当に楽しく元



させ、組む手を1回毎に替えて会話をさせる。初対面の相手にどう自分の思いを語り、相手の話をどう聞くか、そういうプログラムをこなすうちに、参加者は最初とは打って変わったアクティブな気持ちになっていく。営業成績を上げるために、アポをどう取るか、製品のセールストークをどうするかという実践的な

材教育の何歩も手前の、職場の喜びを感じさせることの大切さが、教えられるのではなく、自然に心に湧いてくる、そういうセミナーだ。もう一点注目されたのは、会社の業績を上げるにはトップの「右腕」が必要なこと、もしなければ何となく「右腕」を育成しなければならぬに必須だということだった。参加者に経営者が多くだけにこのメッセージに頷く人が多かった。

キャリア養育で若い世代を育てよう

大田工業連合会 会長 舟久保利明



今日の講演会の職場の空気が実績を創るのだ、というお話は大変に参考になりました。大田工連もいろいろな事業のなかで、キャリア教育に力を入れております。会社の空気をよくするということは、新しく会社に入ってきた人をどう教育するかということにもつながります。ただ、問題意識のない人が入って来たときはなかなか馴染ませるのが大変です。キャリア教育の基本は、学校にいる間に社会人としての認識を身につける、社会と学校を行った

思います。そういう事業に参加する生徒はいずれ自分の会社に入ってくる可能性があるわけです。今日の講演会で戸谷さんが言われた、職場の空気が会社にあれば、かならず生徒は入ってきます。また、杉崎会長が言われたように、たしかに城南島は交通の便が悪い(笑)、そうかも

対応しておりますので、引き続きご協力くださいますよう心からお願致します。また、年末を控えて駐車違反の問題などについても目を光らせてまいりたいと思っております。

モノづくりを取り巻く状況では、今、アベノミクスが少し沈滞ムードにあると感じております。ここで少しテコ入れをしなければいけない時期ではないかと思

モノづくり人材の育成については、大田工連の舟久保会長がライフワークで

やっておられますが、こういう問題や雇用問題については東京都としても皆さんのご要望に応えられるような政策を作っていきたいと、いろいろと仕込んで

乾杯音頭・資金面以外でもお役に立ちたい

商工組合中央金庫大森支店京浜島出張所所長 谷中正英



一年を締め括るにはまだ少し早いのですが、今年は赤が活躍した年でした。英国のEU離脱、離脱派が赤で残留が青でした。大幅の予想に反して赤の離脱派が勝ちました。セリーグで優勝し大活躍した広島カープの赤。Jリーグで強かった浦和は文字通りレッズ。また、大河ドラマ「真田丸」でお馴染みの真田軍の武器は赤です。

ところで、京浜島には地図が描かれた大きな看板がいくつか設置されているんですが、城南島にはございません。そこで私どもは城南島連合会さんのお力をお借りしまして、ぜひ2台は設置したいと考えております。今後は資金面だけではなく、そういった面でも皆さまのお役に立ちたいと思っておりますので、これからも引き続きよろしくお願い致します。では、城南島連合会のみならずの発展と、お集まりの皆さまのご健康を記念して、乾杯の音頭をとらせていただきます。どうぞご唱和ください。乾杯!

城南島連合会イベントあ・ら・か・る・と

「ご要望に応える中小企業政策を作りたい」 大田区長 松原忠義



本日午後、蒲田駅西口前で新しい大田区掲示板第1号基の完成お披露目がありました。掲示板の柱はアルミではなく、錆びにくく強度も高い耐候性鋼材、そしてソーラーパネル式LED照明付きという、まさに大田区のモノづくり技術を集めたもので、全国的に見ても斬新な製品です。オリンピックまでの4年間に896基全部をこの新掲示板にしてい

のモノづくりを生かしながらいろいろな事業を進めていきたいと思っています。ところで、私は21世紀は街づくりの面から大田区がいちばん脚光を浴びる自治体になるのではないかと考えています。終戦後は上野でした。前のオリンピックの時は首都高が出来て東京駅が元気でした。そして、パブルのころは新宿が元気になった。それから国際化が進んで臨海部が見直され、今は品川が元気で。こう見ると上野から品川まで順に南に下がってきて、今度は大田区になる、そう思うのです(笑)。大田区は蒲田駅、大森駅、臨海部、羽田をつなぐとスクエアな街になるので、大森の体育館からずっと平和島の方までをスポーツゾーンとして計画しています。ふるさとの浜辺公園にはビーチバレー場。これは東京で初めての施設で、公式ゲームができる4面。オリンピックの競技は品川でやりますが、練習会場に使えないかと思っています。サッカー場は観客席はないのですが公式の練習場として使えます。そして、ここにある東京労災病院には医工連

携相談室を作っています。お医者さんがこういうのがあったらいいねというのを工業会と連携して作っていいこうというところです。面白いのは、その労災病院の副院長で脳神経外科部長の氏家弘先生が、病院中庭の温室でアオスジアゲハ(豪州名・ブルトライアングル)という青い蝶を飼育しているんです。この美しい蝶は欧米で人気が高い。そこで氏家先生に増やしていただいで、オリンピック・パリンピックはもちろんですが、大田区を訪れる多くの来訪者のおもてなしのシンボルにしようというプロジェクトが始まっています。蝶と触れ合える環境をつくることは、臨海部の自然保護、環境整備にもつながるわけです。

大田区は来年3月15日に70周年を迎えます。私も大田区のイメージキャラクターをやっておりますが、現実をしつかりと見つめながら、70年の歴史と将来を見て進んでいきたい。今後ともよろしく願っています。

中締め

城南島連合会 副会長 中澤勇一郎



松原区長からお話もありましたが、4年後にはオリンピック・パラリンピックもきます。今は城南島も大田区全体も非常に変わってくる時期だと思います。皆さんと力を合わせて、ぜひ盛り上げていきたいと思っています。

第6回東京・江戸前トライアスロン

2016年9月25日(日)に城南島海浜公園と周辺道路で、第6回「東京・江戸前トライアスロン」(主催:一般社団法人東京都トライアスロン連合)が開催され、絶好の晴天に恵まれ、幅広い年代層のトライアスリートたちの熱い闘いが繰り広げられました。競技はトライアスロン一般の部(エントリー数237名、完走188名)、トライアスロン高校生の部(エントリー数9名、完走8名)、トライアスロンリレーの部(エントリー数4組、完走4組)、アクアスロン一般の部(エントリー数9名、完走5名)出場したトライアスリート達は、参加・完走の満足感とともに、城南島の良さを改めて実感することができたようです。来年も積極的な参加をお待ちしております。



遠泳、自転車、マラソンを次々と挑戦していく選手たち。ゴールの喜びは観客にも伝わってくるようでした。



誰もが手軽に楽しめる砂浜清掃を、地域・企業・都民・行政等が力を合わせ、海洋ゴミなど環境問題への啓発を行う、第15回「ビーチクリーンアップ in 城南島2016」(きれいな砂浜をこどもたちに)が2016年10月15日(土)10時30分から、城南島海浜つばさ浜で行われました。城南島連合会も毎年積極的に協力しており、今回は33社、193名が参加しました。熱心に砂浜の清掃に当たり、終了後はパーベキューの慰労食事をを行い、親睦懇親を深めました。



懇親コンペ

2015年秋季・2016年春季(設立30周年記念)



2015 秋季コンペ



2016 春季、設立30周年記念コンペ

2015年11月12日に美浦ゴルフ倶楽部(茨城県稲敷郡)にて総勢15名の参加で秋季ゴルフコンペを開催いたしました。コンディションも良好でしたが結果は、各プレーヤーのハンデキャップの調整がつかずに連合会の懇親コンペはじまって以来の幻のコンペとなり優勝者は不在となりました。しかしながら難コースを参加者全員、和気藹々としてゴルフを満喫して参りました。

2016年5月13日~14日には、城南島連合会の30周年の記念懇親コンペをカレドニアン・ゴルフクラブ(千葉県山武郡)にて18名参加で開催いたしました。今回は記念懇親コンペということでコンペ後にゴルフ談義にて盛り上がりとう宿泊プランを実施いたしました。

優勝者は成友興業株式会社の金子守氏でした。ゴルフクラブの近隣の生そば 孝美にて会食とコンペの結果発表となりました。定例の懇親コンペとは一味違い、参加者の様々なご意見もあり、たいへん有意義な時間とおいしい食事に舌鼓をうちながらアツという間の宿泊コンペでありました。今後も秋、春と親睦を深めるために懇親コンペを開催して参ります。堅苦しくない楽しいゴルフと健康推進を目的としておりますので、皆様ふるってご参加いただけることをおまちしております。詳しくは城南島連合会事務局へお問い合わせください。

株エース、大田区優工場・特別賞「ネットワークチャレンジ賞」認定

タイヤ形成ドラム治具やラジエーターの専用機・部品など、さまざまな精密部品の加工を行っている株式会社エース(本社・大田区城南島2-5-1)が、平成27年度の大田区優工場・特別賞「ネットワークチャレンジ賞」に認定された。同社はすでに平成21年度に優工場に認定されていて、今回は2度目。顧客と細部まで綿密に打ち合わせ依頼主の要望に的確に

応えて最適な製品を仕上げるところが認められた。作業工程の一部を異なる企業に発注する場合は、必ず自社で徹底した検査を実施し、それをクリアした製品のみを次の工程に進めている。社内にも工場があり、特急品や修正加工は内製することで、納期や細かいオーダーにも応えている。

=写真は喜びの社員と西村 修社長(前列左から3人目)



TOPICS

大森消防署からのお知らせ 文化財防火デー消防演習

平成 29 年 1 月 26 日 (木) 池上本門寺において、
文化財防火デーにともなう消防演習を行います。
どなたでも入場無料でご見学いただけます。
たくさんのおみなさまのご来場をお待ちしております。



【文化財防火デー】

昭和 24 年 1 月 26 日、奈良の法隆寺の金堂が火災となり社会的に大きな衝撃を与えました。
その後も文化財の火災が多発したため、先人が残した文化財を守ることを目的に、
昭和 30 年に 1 月 26 日を文化財防火デーと定め、平成 29 年で 63 回を迎えます。
東京消防庁では、この日を中心に消防設備等の点検や自衛消防訓練を呼びかけ、
消防演習を通して国民共通の貴重な財産である文化財を火災から守る運動を推進しています。

日時：平成 29 年 1 月 26 日 (木) 午前 10 時 00 分開始予定
場所：池上本門寺 大田区池上 1-1-1
※荒天により中止、または内容を変更する場合がございます。

問合せ先：大森消防署 予防課防火管理係 電話 03-3766-0119
市野倉出張所 電話 03-3755-0119

ヨコハマタイヤネットワークサービス首都圏株式会社 連載・城南島の企業 ④

トラックから特殊クレーン車まで、多種多数のタイヤを在庫常に顧客の緊急需要に備え、現場で交換できる体制を完備

今回登場する城南島の企業は、ヨコハマタイヤネットワークサービス首都圏株式会社。長い社名だが、社名がその事業と経歴をストレートに表している。タイヤと自動車用品の売買、修理・整備が主業務で、株式会社ヨコハマタイヤジャパンの100%子会社として、2014年1月に設立された。都内と神奈川、千葉に13支店があり、主としてB to Bの事業展開をしている。本紙は9月28日に本社に代表取締役の正好信之氏を訪ねた。インタビューには、取締役生産財・高域統括部長の浅井健次氏と湾岸統括部長の川口陽一氏の2氏が同席された。



中島：ヨコハマタイヤネットワークサービス首都圏株式会社さんの主力商品は、トラックのタイヤですか？
正好社長：そうですね。ヨコハマタイヤの産業用タイヤを、企業さんに直接販売し、修理や整備を行っています。メインは小型から大型までのトラック用タイヤです。会社を設立したのは2014年1月で本社は世田谷の用賀でした。そこは事務セクションだけでしたので、現場との距離を縮めたいという気持ちがありまして、適当な場所をずっと探していたというのが実情です。縁があって2016年に城南島に移転しました。一足先の4月に東京湾岸支店が移転し、本社は翌5月に移転しました。マーケットエリアは東京、千葉、神奈川の3カ所で、13の支店をサービス拠点としています。



社屋(上)は1階が東京湾岸支店、2階が本社となっている。下は手を触れずにトラックのタイヤを交換できる最新鋭マシン(オートチェンジャー)。



代表取締役 正好信之氏(中央)、取締役生産財 高域統括部長 浅井健次氏(左)、湾岸統括部長 川口陽一氏(右)

浅井取締役：最近海外の安い製品をネットで購入することもできますが、タイヤは買っていただいた後の保守も大切です。パンクやバーストなど、どこでどんな問題が発生しても迅速に対応できる体制が必要ですので、支店網を充実させて対応しております。
川口部長：当社はトラックのタイヤが中心ですが、東京、ヨコハマには港湾の特殊な車もありますし、羽田空港には食料を飛行機に積み込むケイタリングの車、飛行機を押し下ろしたり引いたりするトローリングカー、さらに冬の雪を解かす放水車のタイヤも扱っています。
中島：そうですね。特殊な車も扱っておられると、いろんな種類のタイヤを在庫

しなくちゃなりませんから大変ですね。
浅井取締役：ええ、種類とサイズの違いがありますから、いざという時に在庫がないと大変です。私どもの支店は約6、7000本のタイヤを常時在庫しています。そして、修理機器を装備したトラックを持っていきますので、どんな時にも素早く現場に行き指定のタイヤに交換できます。
正好社長：東京港が中央防波堤の方に広がっていますから、城南島は大井から青海までの中心になるわけで、これからのビジネスでは大いに期待できます。本当にいいところに来たと念願がかなった感じがしています。
中島：交通の便が悪いのが問題ですが、御社の活躍の場としてはよかったですね。島内のお客様は順調に増えていますか？
川口部長：非常に近い所にあつて便利だということでもご利用いただいております。
浅井取締役：すぐ来てくれるし、すぐ持って来てくれるから、と(笑)。
中島：何かトラブルがあつた時のことを考えると、私どもにも御社の存在は安心です。
正好社長：企業さんのトラックをメインにしておりますが、城南島の企業の従業員さんなら乗用車の取扱もいたします。
中島：その節はぜひ特別価格で(笑)！
正好社長：ぜひぜひさせていただきます！

